

粋に！

まだまだ暑い夏クール・ビズスタイルは「帽子」で決まり！

2005年に導入されて以来、すっかり日本の夏に馴染んだ「クール・ビズ」。ですが、近年の日本の夏は、年々「酷暑」となる一方です。様々な熱中症対策が行われていますが、そのもっとも効果的な対策のひとつとして今、注目されているのが、これです。

クール・ビズというスタイルは日本中に浸透しましたが、実際のビジネスシーンではまだまだ真夏でもジャケットやネクタイで着用しなければならぬ場合が多々あります。では、そんな時、そんな方々が少しでも心地よく、なおかつ素敵なビジネススタイルで過ごせる方法ってあるのでしょうか？

「あります。それが、帽子です」

そう、さわやかな笑顔で語るのは、創業以来125年を超える歴史を誇る、帽子専門店のお舗「河田帽子店」ののれんを守る、代表取締役 河田澄子さん。

河田帽子店は、初代店主 河田吾三郎氏が岐阜市美園町に1887年創業。柳ヶ瀬から近いお店には、お洒落な紳士淑女がたくさん集い、大変賑わっていたそうです。

その当時のビジネススタイルは「スーツに帽子」。これが正式でした。だからこそ今、本来正装な「帽



河田帽商(株) 代表取締役
河田澄子 さん

子」をクール・ビズとして取り入れるのは大正解なのです。

ちよつと慣れるまでに抵抗があるのでは？といった声にも、河田さんは自信をもってこう返します。

「一度、使っていたいただければ必ずわかります。額や首まわりなど、ほんとうに涼しく感じられるはずですよ」

河田さんの自信はその「品質」にもあります。多くの帽子が店の

「オリジナル」。

例えば「全面メッシュでつばの大きさはこのくらいで：」などといったオンリーワンの要望にも応えられる「技」があります。

その技を担うのが、今では全国でも珍しくなつてしまったという完全手作業の

「職人集団」。

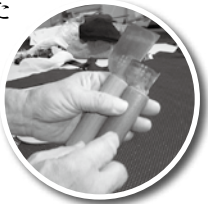
手作業ならではの熟練された技術が随所に活かされているからこそ、他にはない「上質」なのです。



延反、芯貼り、裁断、縫製、仕上げと全ての工程を手作業で行うのは、15歳からこの道一筋の松本さんと、同じく20歳から縫い続ける牧野さん。

松本さんが手にしているのは、布を断つための小刀。

「これが私の命です」



永年培った技からは、機械ではできない美しい切り口が生まれます。手作業だからこそ、布に無駄が出ず柄合わせにも細かな心配りが出来ます。

河田帽商株式会社
代表取締役 河田澄子 氏
〒500-8104
岐阜市美園町3-12
Tel. 058-262-2955
Fax. 058-265-0803

インターネットショップ
□ギンザ★カクテルハット
http://www.ginza-kakuteruhat.com/
姉妹店
□ザ・カルチエラタンハット
□帽子&ウィック・セシボン
□帽子屋 GOSABURO

8月8日
ギンザ★カクテルハット店
OPEN！

長良ハムステラス店 品質の良さ、飽きの来ないデザインと大人のエレガンス性を主張した紳士用・婦人用の素敵な帽子を取り揃えています。

〒502-0054
岐阜市長良井田71番地Bテラス1F

経験から醸し出される技が、丁寧かつ迅速なミシンさばきとなり、何とも言えない「贅沢」な風合いの帽子が次々出来上がります。そんな河田さんのお奨めの帽子。ほんの一部をご紹介します。



パナマ帽

品のあるワンランク上の雰囲気でも被られたことのない初心者の方にもおすすめです。スーツスタイルにもカジュアルにもどちらにも合わせられます。



天然帽子

コサージュや羽を用いて美しい帽子を仕上げることで有名な【Complit】。シナマイ特有の清涼感が爽やか。顔をキレイに魅せてくれるサーモンピンクもポイントです。



ストローハット

ツバがやや長めなので前だけ下げてもカッコいいです。ビジネスファッションはもちろん、ラフなファッションにも相性バッチリです。



折りたたみ天然帽子

ふんわり女性らしいシルエット。日除け効果もあります！